

# この本の見方

**1** テーマ (青春のカタチ)

**2**  **3** ぼくらの七日間戦争

**4** 著 伊藤 悠

**5** ポプラ社

**6** 国語力  
少年たちの成長  
大人への成長

**7** 紹介文  
ある日、東京下町にある中学校の、1年2組の男子生徒すべてが目を覚めた。彼らは果たに東洋国語科か？ と問いあわせた。実は彼らは、東工藤にたてこもって、だれにも知らせない解放区を作っていた。PTA はもちろん、テレビや特派員記者団まで集まらなした了自衛におよぶ中学生たちの生活。すこいけれど、おもしろい！  
大塚南立花中学校1年

一日目、二日目というように記述されていて、一日一日がとにかくおもしろいです。ここに出てくる主人公や仲間たちは、彼らと同じ中学生です。おかしな行動や、知識、想像力、どれもすごいです。子どもとは思えないようなことまでたくさんします。ぜひ読んでください。  
豊島南立花中学校1年

**8** ~いつもと違う教室で~

  

**9** 『ぼくらの七日間戦争』の主人公たちの成長を垣間見ますが、『ハイズワル』は、物語に託している空想教室で読めます。『アザゼル-怪学校の謎』では、怪学校の謎の謎にたづなづな中学生が、最終に違う教室で学ぶ仲間と通じ、『グレタノシタ』では、突然起きた地震に、クラスごと閉じ込められて…。何となくすごい謎の要素、驚くべきことたくさんあるかもしれません！

**10**

## ①テーマ

## ②おすすめの本

## ③書名

## ④作者等

## ⑤出版社

## ⑥一言

この本を読んだ中学生や作成委員のひとことを、集めました。

## ⑦紹介文

この本をお薦めする中学生や先生、作成委員の紹介文です。

※ 応募いただいた紹介文は掲載スペースの関係上、多少修正・省略しています。

## ⑧さらにおすすめの本

②の本を読んだ人や、その本が好き、という人にさらにおすすめの本です。

## ⑨書名・作者等・出版社

## ⑩本の簡単な内容を紹介しています。

## この本を上手に使うために

おもしろ読書事典(中学生版)は、本の内容などによってテーマ分けがなされています。本を選ぶときの参考にして下さい。

※「〇〇のカタチ」とは、

思春期の中学生にとって、各テーマ(例えば、青春、自分、仕事など)のイメージは漠然としていることと思います。そこで、各テーマを「〇〇のカタチ」としてまとめました。

今回このおもしろ読書事典で紹介している本は、作者の思いが「カタチ」になったものです。みなさんもそれぞれの本を手に取り、作者の思いに触れ、自分の「カタチ」をつくりながら成長して欲しいと願っています。